

皆様、いつもお世話になっております。ご存知のとおり、若きナインが奄美の歴史に新たなページを刻みました。大会を制覇した強敵の前に、笑顔で元気はつらつと爽やかに闘う彼らの勇姿は、私たちに清々しい感動を与えて頂きました。

また、応援席を埋め尽くした奄美関係者の方々の熱いエールは、「応援団最優秀賞」を獲得、この心一つに団結した姿こそ、まさに私たち奄美人が誇るべき力ではないかと感じました。



大島高校野球部

いま奄美の政治も行政も、大きな課題をいくつも抱えています。それらに対して後ずさりや先送りをせず、しっかりと向き合って皆で協力して全力でぶつかっていく。この姿勢をこそ、私たち大人が大高野球部から学び取って実践していきたいと考えます。

若者たちが安心して生活を営み、のびのびとチャレンジすることが出来る奄美をつくっていきたい。本土復帰61年目を迎えて、決意新たに歩んで参ります。

安田そうへい

甲子園センバツ出場おめでとう！



そうへいの議会トピックス
直近の議会での決定事項や進捗状況についてお知らせします。

1 平成26年第1回定例会（3月定例会）における主な議案等です

- 25年度一般会計補正予算第4号（国の好循環実現経済対策事業3.3億円、大島高校甲子園出場助成金1千万円、その他減額補正等）7400万円 ⇒ 結果、25年度一般会計総額は325億円（前年度比約6億円減）
- 国の好循環実現経済対策事業の主な内容は、東城中学校体育館改修、朝日幼稚園園舎改修、臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金に関する準備事務等
- 25年度国民健康保険事業・介護保険事業等8特別会計の補正予算
- 医療費の窓口無料化の実施を求める意見書の提出を求める陳情 ⇒ 採択に決定
- 新年度一般会計予算 296億円（前年度比約12億円減）
- 新年度国民健康保険事業特別会計予算65億円、水道事業会計予算21億円を含む、全12の特別会計等予算合計165億円
- TPP（環太平洋連携協定）交渉に関する意見書 ⇒ 全会一致で可決
- 国道58号おがみ山バイパスの事業促進に関する意見書 ⇒ 賛成多数で可決
- 副市長の選任への同意 ⇒ 福山敏裕副市長が再任



はげえ♪
このときは
ドキドキ
ワクワク
でしたね♪



2 議会報告会について

●去る2月7日に笠利・名瀬・住用同時開催で議会報告会が行われました。合計で88名のご参加を頂き、私が参加した笠利会場では、厳しい中にも多くの建設的なご意見を頂きました。皆様、誠にありがとうございました。

3 本庁舎建設提言特別委員会について

●民間委員を交えた基本構想策定委員会がこれまでに6回開催され、基本理念・方針案ができ上がりつつあります。消費増税に関わらず、45億円以内での建設を目指しており、今後の進め方も注視して参ります。

4 「奄美・琉球」世界自然遺産登録推進特別委員会について

●知床半島に位置する北海道斜里町教育長の村田良介氏や元環境省の小野寺浩氏を招いて、継続的に勉強会を行っております。その成果を発信する方法を、私なりに考えて実践して参ります。

そうへいの 一般質問レポート

一般質問は、
議員が公の場で能動的に
政策を提言できる、
数少ない貴重な機会です！



今 回の一般質問では、
奄美市の経済・産業・

雇用をいかに拡大・向上さ
せるかを念頭に置きながら、

①大型観光船(クルーズ船)
の受け入れ体制整備

②観光・交流の深化

③新製品開発・販路開拓

について採り上げました。

① では、過去最大級の
「サン・プリンセス」

が今年 6 回ほど名瀬港に來
航予定ですが、乗客 2 千人
をどのようにおもてなしす

るか、が喫緊の課題です。

貸切バス・タクシー等の陸
上輸送力は 1300 人分程
度しかなく、名瀬のまちを
いかに魅せるか、案内する
かが問われています。外国
語通訳も含めて、ボラン
ティアガイドをして頂ける
人材の育成は、市民の皆様
とともに進めていくべき課
題です。

② では、既に実施され
ている「奄美遺産・

シマ遺産」や「一集落 1 ブ
ランド」等とも連携しなが
ら、各地域・集落におい
ていかに観光・交流産業を根
付かせていくかについて議
論しました。大島紬・黒糖
焼酎・島唄・日本復帰運動
等のテーマ毎に「名瀬まち
歩きマップ」の作成を提案
したり、笠利・住用の宿泊
施設に乏しい地域では民泊

をするなど地域にお金が回る仕組みづ
くりの大事さを提起したりしました。

③ では、農産物や大島紬・黒糖焼
酎を使った新しい製品や情報通
信産業における新しいサービスを開発
していくために、また販路開拓・拡大
のために、市としてどのような支援を
していくかについて質問しました。民
間や国・県との連携、また各産業界の
連携が重要な課題であり特に食品加工業
への支援をさらに求めていきたいと考
えます。

24 年 4 月に來航したザンダム号。乗客の多くが外国人観光客で
した。今年も多数のクルーズ船が
名瀬港に來航します。

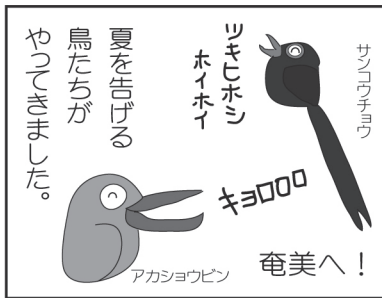


笠利町佐仁集落の中央
にあるデイゴの木も、
大事なシマ遺産です。
身の回りにある地域資
源を見つめ直してい
きましょう。

1 月～3 月の主な活動

- 1/1 奄美市合同年始会
- 3 住用地区成人式
- 5 消防出初式、名瀬地区成人式、笠利地区成人式
- 6 マイク初め (本年最初の朝の辻立ち)@永田橋交差点
- 18 龍郷町子ども博物学士講座 (西郷隆盛・愛加那について)
- 20 議会運営委員会 (3 月定例会の日程について)
- 22 B S 11『とことん歴史紀行』撮影対応
- 29 奄美大島商工会議所と市・市議会との意見交換会
- 30 奄美群島地区植樹祭@住用町
- 2/3 住用町囁託員会
- 5 「奄美・琉球」世界自然遺産登録推進特別委員会 (2/23、3/17 も)
- 7 議会報告会 (笠利会場に参加)
- 9 桜並木・フナンギョの滝ウォーキング@住用川内集落
- 13 3 月定例会の議案配付、奄美エコマネー運営委員会
- 14 議会運営委員会 (請願・陳情の取り扱い等について)、本庁舎建設提言特別委員会
- 16 龍郷町民フェア (志塾・西郷塾で展示ブースを設置)
- 20 3 月定例会開会、産業建設委員会審査
- 21 総務企画委員会審査 (委員外議員として参加)
- 24 朝山市長施政方針演説、全員協議会 (新年度予算審査等について)
- 28 大島地区衛生組合議会
- 3/3～6 一般質問 (6 日の 1 番目に登壇)
- 7 本会議 (25 年度補正予算等 14 議案を可決)
- 10～11 新年度予算等審査特別委員会 (特別会計等審査を担当)
- 14 議会運営委員会 (最終本会議の日程変更について)
- 19 最終本会議 (新年度予算等 26 議案を可決)
- 20 住用・笠利新庁舎開庁式

壮平がいく!
画：志之助



特 奄美市の 新年度 予算集

私たちのお金について

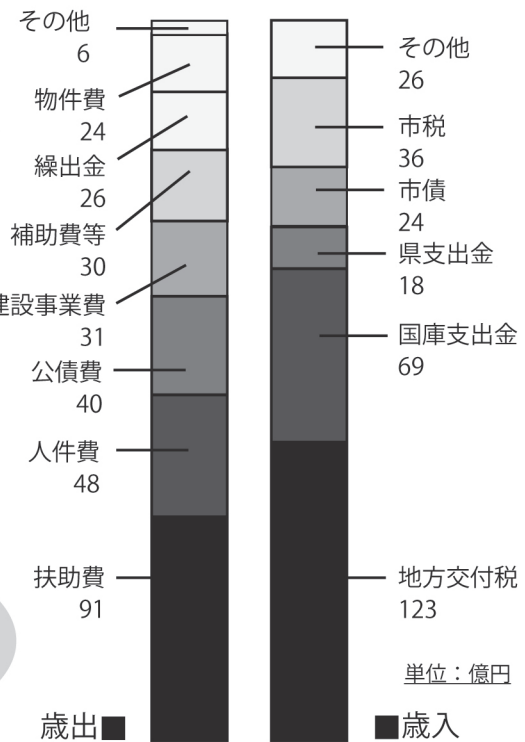
CHECK!
奄美市の借金総額を
市民一人当りにすると、
100万円を超えます。

行財政の効率的な運営で
少しずつ借金を減らす予定ですが、
私たちの借金ですので、注意深く
チェックしていきましょう!

CHECK!

CHECK!
末広・港土地区画整理事業を
進めるために、新年度より
推進担当官が配置されます。

CHECK! 完成まで残り5年、
様々な支援制度を活用して
頂きながら、商店街を再生
させていきたいです。



一般会計は歳入・歳出ともに296億円余りで、昨年度と比べて約12億円のスリム化が図られています。その要因を見ながら、新年度の特徴をチェックしてみましょう。

- ① 歳入では、市の経済力の目安ともいえる市税が1%の減少。市債も36%の減少となり、公共事業が減少したことを示しています。
- ② 歳出では、扶助費（福祉）91億円、人件費48億円、公債費（借金の返済）40億円、普通建設事業費（公共事業）31億円（対前年度比32%、14億円の減少）と、この4つで全体の7割以上を占める構成は昨年度と同様です。
- ③ 消費税増税に伴い、奄美市に交付される「地方消費税交付金」は昨年度より4700万円余り増える見込みです。この交付金のうちの社会保障財源化分の全てを、障害者福祉事業に使う予定です。
- ④ 26年度末の奄美市の借金総額（一般・特別会計等含む）は昨年度より10億円減の511億円となる見込みです。今後も減少する見込みですが、名瀬本庁舎建設の際には一時的に借金残高が増える予定。ただし、25年度の521億円は超えないとの見通しです。
- ⑤ 主な目玉事業としては、末広・港土地区画整理事業（継続）9.7億円、小中学校校舎・体育館改修（知根小・赤木名小・赤木名中・金久中）4.3億円、防災行政無線のデジタル化改修3.2億円（継続）、三儀山運動公園整備3.1億円（継続；総合体育館・野球場電光掲示板等の改修）、国民健康保険事業特別会計への財源補てん分2.5億円、緊急雇用創出臨時特例基金事業1.5億円等があります。事業の進捗や効果が分かりやすく伝わるように、情報発信に取り組んでいきます。

皆

様も新聞報道等で
ご存知のとおり、
今年度より5年間、延長
改正された奄振法が施行
されます。鹿児島県の伊
藤知事が奄美群島の最大
の課題は「雇用の拡大と
定住の促進」とおっしゃっ
ていますが、まさにこの
厳しい奄美の実情を乗り
越えていくために、新し
い奄振法・奄振事業を最
大限に活用していかなけ
ればなりません。

奄振法の最大の目
玉は「奄美群島振
興交付金」であり、国の
予算で21億3千万円が投
入されます。これを活用
して、農林水産物を本土
まで出荷する際の輸送費
をほぼ全額助成したり、
群島民長年の悲願であっ
た航路・航空路運賃を低
減化したりすることにな
ります。これまでの「奄

振Ⅱ公共事業」という仕
組みを大きく変える、画
期的な予算であるといえ
ます。

の背景には、奄美
群島が「国の領域
の保全、海洋資源の利用
多様な文化の継承、自然

こ

どうなる、
新奄振!?
どうなる、
航空運賃!?

コ ラ ム

環境の保全、自然との触
れ合いの場及び機会の提
供、食料の安定的な供給
(新奄振法第2条より引
用)等、いわば「国家的
役割」を担うことへの期
待が込められています。
とりわけ、国防上の要衝
としての存在意義はます

ます高まつていくことで
しょう。そのためにも、
定住の促進に関する支援
の充実が図られ、また国
・市町村の責務が創設
されています。多くの人々
がこの島々で生活を営む
ことが、何よりの国土保
全になります。奄美の人
口維持に向けて、本気で
政策を立案・実行してい
きたいと思えます。

航

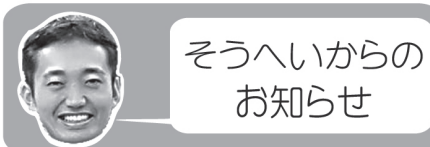
空運賃低減化につ
いても、制度の詳
細はまだ設計中ですが、
奄美在住者は県内便が約
5割引きに、他地域の在
住者は群島内便が約3割
引きになる見込みです。
その他、東京便のみ一時
的な割引キャンペーンが
行われる予定ですが、大
きな一歩とはいえ、外か
らの観光客誘致にどれほ
ど効果があるかは未知数
です。しっかりとそれを

検査し、さらなる改善に
向けた提言・提案が必要
となります。また、民間
のパナラ・エア社が格安
運賃で成田便を就航させ
る予定で、かなりの誘客
効果が生じると感じます。
この制度を呼び水として、
民間会社同士の切磋琢磨
が生まれるよう、期待し
たいところです。

新

新しい事業や政策を
始めれば、必ず新
たな問題や課題が生じま
す。でもそれは、将来の
成功と繁栄に向けた大事
な試行錯誤です。常に改
善・向上を図りながら、
時代をとらえて変化や進
化を遂げていくこと、こ
れからの新奄振にとって
大切な姿勢だと考えます。
皆様からのご意見を参考
に、お役に立つ新奄振を
絶えず求め続けて参りま
す。

●本チラシの「配布ボランティア」を
募集しております!
●お困りごとや奄美市へのご要望等ありま
したら、お気軽にお寄せください!
●しーまブログ、ツイッター、フェイスブックでも
活動情報発信中です!



そうへいからの
お知らせ

●「出前報告会」
を行います!

現在、定期報告会の開催
予定はありませんが、ご要
望頂ければ出張報告にうかが
わせて頂きますので、よろしく
お願いいたします。



※安田そうへい連絡先:
奄美市名瀬古田町5-7
電話: 54-7621 / FAX: 54-7620
Eメール: sohei@mskj.or.jp